

科目名	担当教員名	曜日・時限
論述問題演習	中曽根玲子	サマセ
<b>講義授業</b>		
<p>●授業のテーマ 現代日本の諸問題に関する小論文の作成・グループディスカッション・プレゼンテーション等</p> <p>●授業の内容 公務員試験では、専門試験以外にも、論文試験・グループディスカッション・個別面接等が実施され、そこでは主として政策論が問われます。本演習は、これまで馴染みが少ない政策論を実践的に学ぶプログラムであり、主として地方公務員（上級）などになることを念頭におきつつ、わが国で生起する様々な社会問題の中からテーマを設定し（具体的には、高齢化社会・治安維持・地域の活性化・防災など）、小論文の作成・グループディスカッション・個別プレゼンテーション等の訓練を行ないます。 本授業は、対面で行います。</p> <p>●到達目標: 以下の点につき、論文として纏めることと、口頭で相手に伝えることができるようになる。 ・現代日本の社会問題、特に公共的な政策的課題について、現状と問題点を説明できる。 ・問題点に対して実現可能な解決策を提示できる。 ・自らの考えを論理的かつ説得的に説明できる。 ・時々刻々変化する社会の問題に問題意識を持ち続ける。</p>		
<b>成績評価の方法・基準</b>		
<p>●平常点 100% 授業内課題・事前課題・グループディスカッション・個別プレゼンテーション等において、「到達目標」で挙げた諸点につき、論文として纏めることができたか否か、また、口頭で自分の意見を相手に伝えることができたか否か等、その他演習への貢献度により総合的に評価する。</p>		
<b>教科書</b>		
特に指定しない。		
<b>参考文献（コメント）</b>		
<ul style="list-style-type: none"> <li>●吉岡友治『地方上級・国家一般職[大卒]・市役所上・中級 論文試験 頻出テーマの纏め方 2022 年度版』実務教育出版</li> <li>●鈴木鋭知『公務員試験無敵の論文メソッド』実務教育出版</li> <li>●高瀬淳一『公務員試験 論文・面接で問われる行政課題・政策論のポイント 2022 年度版』実務教育出版</li> <li>●大賀英徳『公務員試験 現職人事が書いた「自己 PR・志望動機・提出書類」の本 2022 年度版』実務教育出版</li> <li>●大賀英徳『公務員試験 現職人事が書いた「面接試験・官庁訪問」の本 2022 年度版』実務教育出版</li> <li>●山下純一『公務員 論文試験の秘伝 2022 年度採用版』TAC 出版</li> <li>●山下純一『面接・官庁訪問の秘伝 2022 年度採用版』TAC 出版</li> <li>●『公務員試験受験ジャーナル』『公務員試験学習スタートブック』実務教育出版 等</li> </ul>		
<b>授業計画</b>		
<p>●事前学修（60分～） サマーセッションで短期集中型の授業となるため、授業開始前に K-SMAPYII を通じて事前課題を 3 つ提出すること（詳細は授業登録後に K-SMAPYII でお知らせする）と、夏期休業中にそれぞれプレゼンテーションのテーマ（同じく、K-SMAPYII でテーマ等についてお知らせする）に沿って発表のための準備をしておくことが必要です。</p> <p>●事後学修（60分） 論文を簡潔に纏めること、またグループディスカッションで的確な意見を述べるには、事前の準備（知識や物事に対する理解など）が大切であるということを体得することも本授業の目標のひとつです。原則として、授業内で書いた論文の書き直しを宿題とします。自分の足りない点があったら、関係する情報を図書館・インターネットなどで積極的に調べてください。</p> <p>●受講に関するアドバイス 本科目は PCAP 科目であり、PCAP のパブリックサービスキャリア・コース登録者 3 年生及び 4 年生を対象とするものです。卒業後に、公務員となることを志望している学生を想定しています。ただし、現時点で公務員志望が固まっている必要はなく、授業の内容が現代日本の社会問題を扱うものであることから、最終的に民間企業に就職する場合でも、本演習の内容は役立つものと考えています。受講生には、お互いに切磋琢磨し合う積極的な授業参加を期待します。なお、特に公務員試験との関係では、前後期・スプリンセッションの同様の演習を継続して履修することがより効果的です。こうした点も踏まえて、計画的に学修するようにしましょう。</p>		
第 1 回 (9/14)	<p>【イントロダクション】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・演習の進め方について説明する</li> <li>・個別プレゼンテーションの順番を決定する</li> <li>・自己紹介を兼ねたプレゼンテーションを行い、お互いに評価し合う（K-SMAPYII のアンケート機能を併用する）</li> </ul> <p>【事前学習 60 分】自己紹介文（何を話すか、自己のアピールポイント等を考えておく）を準備しておく</p>	

	【事後学修 60 分】見直し再提出する
第 2 回	<p>【事前課題の検討 (1)】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>なぜ公務員になりたいのか、なぜ資格を取得したいのかについて、個別プレゼンテーションを行い、その後、グループでのフリーディスカッションを行う</li> </ul> <p>【事前学修 60 分】事前課題①として、夏期期間中に、志望する公務員、取得したい資格について調べ、志望する理由等を文章に纏め、提出しておく</p> <p>【事後学修 60 分】見直し再提出する</p>
第 3 回	<p>【授業内課題に取り組む (1)】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>授業時間内に提示された課題について時間内に小論文を書く</li> </ul> <p>【事後学修 60 分】見直し再提出する</p>
第 4 回	<p>【纏め (1)】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>自己紹介文、志望理由、授業内課題についてフリーディスカッションをして感想・反省点を纏める (K-SMAPYⅡのアンケート機能を併用する)</li> </ul>
第 5 回 (9/15)	<p>【グループディスカッション (1)】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>グループディスカッションを行い、テーマに沿って自己の意見を述べる</li> <li>グループ全体の意見を集約して結論を纏め、発表の準備をする</li> <li>他のグループの発表に対して質問をする</li> </ul>
第 6 回	<p>【授業内課題に取り組む (2)】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>授業時間内に提示された課題について時間内に小論文を書く</li> </ul> <p>【事後学修 60 分】見直し再提出する</p>
第 7 回	<p>【事前課題の検討 (2)】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>事前に提出した課題②について全員で検討する</li> </ul> <p>【事前学修 60 分】事前課題として、夏期期間中に課題②を作成・提出しておく</p>
第 8 回	<p>【纏め (2)】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>グループディスカッション、授業内課題、事前課題についてフリーディスカッションをして感想・反省点を纏める (K-SMAPYⅡのアンケート機能を併用する)</li> </ul>
第 9 回 (9/16)	<p>【グループディスカッション (2)】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>グループディスカッションを行い、テーマに沿って自己の意見を述べる</li> <li>グループ全体の意見を集約して結論を纏め、発表の準備をする</li> <li>他のグループの発表に対して質問をする</li> </ul> <p>【事後学修 60 分】グループディスカッションの感想・反省点を纏める</p>
第 10 回	<p>【授業内課題に取り組む (3)】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>授業時間内に提示された課題について時間内に小論文を書く</li> </ul> <p>【事後学修 60 分】見直し再提出する</p>
第 11 回	<p>【事前課題の検討 (3)】事前に提出した課題③について全員で検討する</p> <p>【事前学修 60 分】夏期期間中に課題③を作成・提出する</p> <p>【事後学修 60 分】見直し再提出する</p>
第 12 回	<p>【個別プレゼンテーション (1)】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>担当者がテーマに沿って発表を行う</li> <li>担当者は全員の質疑に答える (K-SMAPYⅡのアンケート機能を併用する)</li> </ul> <p>【準備学習 360 分】担当者は必要な調査や情報収集を行い、当日のプレゼンテーションに備える</p>
第 13 回 (9/17)	<p>【個別プレゼンテーション (2)】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>担当者がテーマに沿って発表を行う</li> <li>担当者は全員の質疑に答える (K-SMAPYⅡのアンケート機能を併用する)</li> </ul> <p>【準備学習 360 分】担当者は必要な調査や情報収集を行い、当日のプレゼンテーションに備える</p>
第 14 回	<p>【個別プレゼンテーション (3)】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>担当者がテーマに沿って発表を行う</li> <li>担当者は全員の質疑に答える (K-SMAPYⅡのアンケート機能を併用する)</li> </ul> <p>【準備学習 360 分】担当者は必要な調査や情報収集を行い、当日のプレゼンテーションに備える</p>

<p>第 15 回</p>	<p>【纏め (3)】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・個別プレゼンテーションについてフリーディスカッションをして感想・反省点を纏める</li> <li>・全体を振り返る (K-SMAPYⅡのアンケート機能を併用する)</li> <li>・第 2 回でプレゼンテーションをした志望理由について改めて考えてみる</li> </ul>
---------------	---

【注意事項】 シラバス通りに実施する予定ですが、受講生数や学修環境等さまざまな状況により、内容を変更することがあります。